

幸せ運ぶ米ぬか紙 ~for NOTO~

2104 一花 2106 上田 2115 岸 2129 西 2132 福亀

余っている米ぬかや酒粕を使用し
消臭紙と匂い紙を作成！

〈米ぬか・酒粕とは〉

米ぬか

- ・精米する際に発生する粉
- ・ぬか床や肥料として利用される

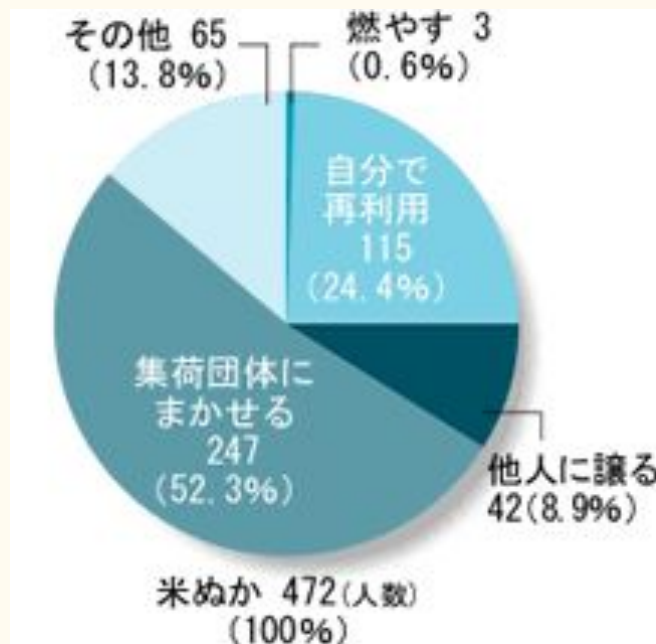
酒粕

- ・酒を絞る際に発生する粕
- ・漬物の材料や飼料として利用される



〈米ぬかや酒粕の現状〉

[グラフ1：米ぬかの処理方法]



$$\begin{array}{ccccc} \text{(自分で再利用)} & + & \text{(他人に譲る)} & = & \text{(使用)} \\ 24\% & + & 9\% & = & \underline{33\%} \end{array}$$

約70%の人々が米ぬかの使用方法に困っていたり、有効的に活用できていないことがわかる。

米ぬかの使用方法のほとんどが肥料

+

農業に携わる人口の減少

+

酒粕のほとんどが捨てられている



米ぬかや酒粕が使用されずに余っている

〈米ぬか長所・短所〉

長所

- ・耐水性や耐油性
- ・消臭効果
- ・入手しやすい

短所

- ・カビや害虫が
発生する可能性
あり

〈米ぬかや酒粕の活用方法〉

米ぬかや酒粕から混抄紙を作成し、
食品販売店や料亭で利用してもらう

混抄紙^{こんしょうし}とは

世の中の環境への関心と、
インパクトある商品アピールを兼ね備えた環境紙

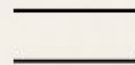
「混抄紙」は、非木材パルプの一部として廃材を使用します。
お茶の梱包用ケースに使用済み茶がらを抄き込んだり、アパレル繊維を原料の一部に使用した実績がございます。
弊社の紙の原料は古紙が主体であり、元々環境に配慮したものとなっていますが、「混抄紙」のような環境紙を製造することで、木材パルプの使用量を減らし、更に地球に優しい製品をご提供いたします。



端材



古紙パルプ



混抄紙

<https://nakagawa-paper.co.jp/sdgs>

端材…米ぬか(+酒粕)

古紙パルプ…新聞やダンボール

①米ぬかから作成した用紙

【特徴】耐油性・耐水性（・消臭効果）

【使用用途】揚げ物やパンなどの食品の包み紙

②米ぬかと酒粕から作成した用紙

【特徴】米本来の香りを楽しめる

【使用用途】酒の包装紙や料亭のお品書き

〈米ぬか紙によって…〉

- ・米ぬかの消臭効果
- ・米ぬかの耐水性や耐油性が期待できる



〈米ぬか紙＋酒粕によって…〉

- ・香りを楽しむことができる



〈米ぬか紙の課題〉

- ・木材から紙を作成する以上に費用がかかる
- ・米ぬか用紙に消臭効果を求めている人がどれだけいるのか調査する必要がある
- ・どのように付加価値をつけたり差別化を図ったりするのか考える必要がある

〈米ぬかや酒粕の集め方〉

会社が定めている作成できる用紙の最低量が3t(100万枚)

+

米ぬかを10%まで配合可能

↓合計300kg必要

千枚田(なじみ田守米や絶景米)から集める

※酒粕は酒屋さんから集める

〈ターゲットの方向性〉

紙の作成に木材ではなく米ぬかを使用する事による

耐油性と耐水性・消臭効果

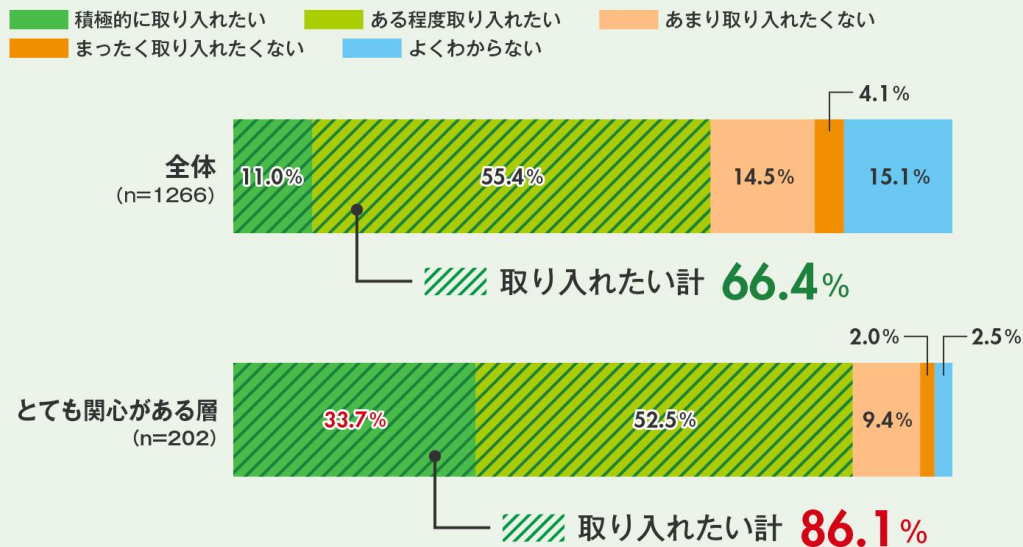
+

素材の高級感を生かした紙

〈ターゲット層〉

[グラフ2: エシカル消費への関心度]

図4 SDGs・エシカルを意識した食品を、今後外食(飲食店)で食べたいか(取り入れたいか)



※数字は全体+10%以上

- ・エシカル消費に興味がある人
- ・米ぬか紙のメリットを必要とする人
- ・紙に高級感を求める人

〈協力をお願いしたい企業〉

- ・中川製紙株式会社（白山市の会社）
- ・吉田酒造店

<u>収支計画</u>	<u>1年後</u>	<u>3年後</u>
売上	1000万円	1750万円
売上原価	100万円	0
経費	1212万円	1304万円
利益	-312万円	445万円

※3年ごとに紙を生産するため、4年目に再度、売上原価がかかる。